

北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズを的確に応えようとするNPOなどの道内の市民活動を応援しているセンターです。

特集

「ファシリテーション・グラフィック」って何だろう？

平成19年2月10日～11日に、当センターで開催した「市民活動スキルアップ講座」において、「ファシリテーション・グラフィック」を学びました。皆様へご報告します。

皆さんは、「ファシリテーション・グラフィック」をご存知ですか？これは会議をより良くするための手法の一つで、模造紙やホワイトボードなどに板書しながら、会議を進行し、記録し、整理していく力のことを指します。この手法は、NPO活動を行うために非常に有効な力となります。今回の講座では東京と福岡から講師をお招きし、実習を交えながら2日間の講座を行いました。遠くは北見や帯広・室蘭からも受講生が参加し、ファシリテーション・グラフィックへの関心の高さを物語る講座となりました。皆様へ講座の概要をお伝えいたします。

講師紹介

志賀壮史さん（里山計画研究所代表）

青木将幸さん（青木将幸ファシリテーター事務所代表）

講座の第一日目は、参加者の心と身体の体調を確認するオリエンテーションから始まりました。その後2人1組で、相手を紹介するためのファシリテーション・グラフィック（以下はF・G.と表記します）を行ない、全員が発表し自己紹介が終わりました。その後「ファシリテーションって何ですか？」という問いかけに対して、グループ討議と全体討議を行いました。すでに行われているグループ討議や全体討議の手法がいつもと違う方法であり、F・G.が始まっています。

そこで出た意見には、会議を促進する・チームの相乗効果を引き出す・

意見を整理するなどがありました。その後「グラフィック（書く）ということは、話し合いや会議に何をもたらしますか？」という問いに対しては、意見の整理が出来る・そのまま議事録になる・話が苦手な人も参加できる・言語だけではなくて視覚で理解できるなど多くの意見が出されました。講師から主なF・G.の働きとして、会議のプロセスを管理することが出来る 発言を活発化する 全員で共有できるなどの講義がありました。では「なぜ書くのか？」という理由については、「会議に参加しているメンバーみんなに活躍してもらいたい」からであり、F・G.を行うことで、会議のメンバーを ノートを取ることから 覚えておくことから 主張するために頑張ることから 開放し、より議論の中身や創造的な部分に力を注ぐことを助けることが出来るとのことでした。ここまでの講義もすべてF・G.を取り入れて進んでおり、実践を見ながら肌で感じながらの講義



特集：「ファシリテーション・グラフィック」って何だろう？

内容で非常に分かりやすいものでした。講義の後、ペンの持ち方・色の使い方・模造紙の張り方などの実習を受けながら、F・Gの7つ道具やその使い方などを勉強しました。そこでは「文字を書くことや漢字や絵が苦手でもドンドン書いて、キレイに書かなきゃという考えを取り払うことが大事」という講師の言葉に、実際に全員がペンを片手に書く実技をしました。



午後からは、F・Gのさまざまなレイアウトを学びました。F・Gは話し合う内容によって書き方を変えることが

でき、F・Gの展開方法も違うので、どの会議でどんな書き方が有効なのかを学びました。その後は、グループに分かれて実習が始まりました。6人グループに分かれ、1人ずつ違う課題を与えられ、使用するレイアウトも決められて、会議時間にも設定があります。例えば『3番目の人の課題は「小学校の抱える問題」を話し合い、マンダラ型のレイアウトで7分間の会議をまとめる』というものです。3つのグループが次々と、時間を区切られた中でのF・Gを行っていきます。

その後、グループごとに「書くこと・書きながら進める会議」に対する感想を発表しました。書くことに夢中で姿勢や文字のサイズに意識できない・意見のポイントとなる意図の汲み取りが難しい・グラフィッカー（書く人）とファシリテーター（会議を進める人）が2人で組むとやりやすいなどの意見が出されました。他にも、字で残っているから確認ができる・後から見るととても楽しいなどの意見と共に、全員が「次はもっとできるかもと思える」と目を輝かせており、F・Gで進める会議の効果が良く理解されたようでした。意見収集後、「書く会議のあり方」としてより効果が上がるF・Gの講義があり、人数や目的にあ

った会場づくりや会議の進め方を学びました。初日の最後は、長時間の会議の進め方の実習でした。課題は「宝くじで3億円当たった老人が、北海道を盛り上げるためにお金を使ってほしいと考え、その公募で勝つための企画案を1つ作る」というものです。6人グループの中の3人が「北海道盛り上げ委員」となり、アイデアをたくさん出し、整理し、1つに決めるまでの会議の組み立てとF・Gを担当します。会議そのものをどう組み立てるか、その時間配分はどうするか、F・Gをどう展開するのか、考えることはたくさんあります。この実習は1日目だけでは終わらず、第2日目の講座に続きました。

第2日目は、前日の続きの実習から始まりました。時間を知らせるタイマーをグループごとに配り、時間配分も



含めて実習を行い、その後全体で発表しました。前日より受講生は格段にF・G能力を身につけており、その違いに驚かされます。次に、個人が提案した課題に対して8分間のF・Gを行いました。ここでは、問いかけの役割や方法を学びました。2日間の講座の最後は、全体での振り返りです。実際にF・Gを行ってみて、書きかけの紙を貼っておくと思い出して時間外でも話し合いができる・貼り出すことそのものが情報発信になる・参加できなかった人も後から意見を足すことができるなど、今まで気づけなかったF・Gの効果も分かりました。

たった2日間でしたが、たくさんを学び身につけることのできた講座であったと感じました。



センターインフォメーション

平成18年度に当センターで開催した講座等を一部紹介します

市民活動基礎講座

市民活動に関心のある方々を対象にボランティアやNPOなどの市民活動の基礎知識や組織づくりなどを学ぶ講座を6回開催しました。



「講師の東田秀美さんと講座の様子」

平成19年度は、年6回、6月、8月、10月、11月、12月、2月に開催予定です。

日程が決まり次第、当センターのホームページでご案内します。

NPO 法人設立講座

特定非営利活動法人（NPO法人）の設立を考えている方々を対象に、法人設立に必要な手続きや管理運営などに関する基礎的知識を学ぶ講座を6回開催しました。



「講師の中尾肇さんと講座の様子」

平成19年度は、年6回、6月、8月、10月、11月、12月、2月に開催予定です。

日程が決まり次第、当センターのホームページでご案内します。

市民活動スキルアップ講座

市民活動団体のスタッフ等を対象に、実務能力のアップを目的にそれぞれのテーマで4回開催しました。



「私たちの思いを上手に伝えよう」



「フォトショップを使いこなそう(初級編)」

「ファシリテーション・グラフィック」

平成19年度は、「情報整理」、「会計」、「ファシリテーション・グラフィック」などのテーマで開催を予定しています。

テーマや日程が決まり次第、順次、当センターのホームページでご案内します。

市民活動スタッフ養成講座

～NPO・NGOスタッフトレーニング～

市民活動団体のスタッフ等を対象に、豊富なワークショップを通してNPOやNGOに必要な知識や技能などを身につけるための5日間の研修講座を開催しました。



「アイスブレイクからまとめまでの講座の様子」

平成19年度も全5日間（30時間）の日程で開催を予定しています。

日程が決まり次第、当センターのホームページでご案内します。

センターインフォメーション

平成18年度に当センターで開催した講座等を一部紹介します

市民活動協働開催講座

市民活動に対する意識の向上や参加の動機付けなどを目的に市民活動団体が企画したテーマでそれぞれ6回開催しました。



「昔あそび講座」



「NPO決算書作成セミナー」

平成19年度も、道内の市民活動団体を対象に企画を公募し、採用団体と共催で開催します。

公募については、4月下旬頃、当センターのホームページでご案内します。

市民活動ミニフェア

ボランティア活動やNPOなどの市民活動に関する展示会やパネル展、ミニ講演会などを通して広く一般市民に知っていただくことを目的に開催しました。



「フェアトレード & ボランティアキルト展」



「スノーフェア2007～雪を科学して遊んじゃえ～」

平成19年度も道内の市民活動団体を対象に企画を公募し、採用団体と共催で開催します。

公募については、4月下旬頃、当センターのホームページでご案内します。

市民活動団体のみなさんへ

みなさんの団体のパンフレットやイベントチラシ、会報など北海道立市民活動促進センターに置きませんか！

当センターでは、市民活動団体のみなさんの活動をアピールする情報提供スペースがあります。みなさんの活動の宣伝に活用しませんか。

直接ご持参または郵送のどちらでも結構です。



【パンフレット置き場】



【イベントチラシ掲示板】



【会報掲示板】



【会報ファイルコーナー】

(なお、営利目的と判断されるものや、政治・宗教を主な目的とする内容のものは受け付けられませんので、予めご了承ください)

当センターでは、市民活動に関する疑問・質問に相談員がお答えしています。

「NPOって何ですか?」、「ボランティア募集の情報を知りたい」、「助成金に関する情報を得るにはどうしたらいいの?」、「市民活動団体の運営についてアドバイスを受けたい」、「現在の活動団体をNPO法人化したい」など市民活動に関わる相談に相談員がお応えします。

直接来所、電話、FAX、メールなどで、お気軽にご相談下さい。

- ・TEL : 011 261 4440
- ・FAX : 011 - 251 - 6789
- ・E-mail : center@do-shiminkatsudo.jp
- ・URL : http://www.do-shiminkatsudo.jp

編集後記

今回は、市民活動スキルアップ講座「ファシリテーション・グラフィック」の報告を特集しました。ファシリテーション・グラフィックは、会議などで大いに活用できる手法ですね。

新年度も当センターの講座等を是非ご参加下さい。(山)